様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	障がい者地域生活等支援事業	コード	62112

２ 担当部課	部等	健康福祉部	課等	社会福祉課	作成者	白田　研一

３ 事業概要				
目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
	政　策	福祉の充実	施　策	障害者（児）福祉の推進
予算科目		障がい者地域生活等支援事業費	業務委託	一部委託
実施義務		あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
根拠法令		障害者総合支援法　第77条		

●事業の内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		障がい児者が、その能力や適正に応じ、自立した生活が営めるよう、給付や事業の提供を行う。
目的	対象者	障がい児者
	意　図	給付や事業を実施することで、障がい児者の福祉の向上を図る。

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

1　聴覚障がい者のコミュニケーション支援事業として、手話通訳者設置、手話通訳者・要約筆記者派遣事業やスポーツ・レクリエーション講座等を岡谷市社会福祉協議会に委託して行った。
2　諏訪圏域障がい者総合支援センター「オアシス」の相談支援業務等の事業運営に関する負担金を支出した。
3　障がい者の日常生活の便宜を図るため、日常生活用具等の給付を行った。
4　社会参加等の外出時の介助支援のため、移動支援事業を実施した。
5　居宅での訪問入浴サービス事業の給付を行った。
6　障がい者等の日中における活動の場を確保する日中一時支援事業による介護委託の給付を行った。
7　身体障がい者が自ら運転するための自動車改造費の助成を行った。
8　障害者地域活動支援センター（身体障害者デイサービス事業和楽、ひだまりの家）の運営費補助や給付費を支出した。
9　こころのバリアフリー推進事業として、障がいや障がい者の理解・啓発活動を推進した。
10　障害者優先調達推進法により、調達方針を策定、積極的に障がい者就労施設等から物品等を調達し、目標額を達成した。

前年度の課題への対応	障がい者就労施設等からの物品等の調達を推進するため、障害者週間に市民ロビーで障がいに関する啓発と事業所による物販を行い、職員や来庁者の理解を深めてもらう機会を提供するとともに、発達障がいに関するチラシによる街頭啓発を実施、理解を深めた

６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	移動支援事業利用決定者数			単位	人
実績値	55	71	73		
＊指標の説明	利用決定者数				
② 成果指標（指標名）	移動支援事業利用時間			単位	時間
目標値	2,755	2,966	3,386		3,386
実績値	2,966	3,386	3,109		
達成度	107.6%	114.2%	91.8%		
＊指標の説明	利用決定者が実際に利用した時間数				
＊目標値の設定方法の説明	過去３年間の最大値				

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	54,992,887	52,398,100	47,742,307	50,242,000
経常経費	54,992,887	52,398,100	47,742,307	50,242,000
臨時的経費				
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		11,200,000	11,200,000	11,200,000	12,800,000
正規職員の人数（人）		1.40	1.40	1.40	1.60
③ 合計コスト（①＋②）		66,192,887	63,598,100	58,942,307	63,042,000
前年度比			96.1%	92.7%	107.0%
財源内訳	一般財源	43,320,920	40,744,696	41,899,098	35,569,253
	特定財源	22,871,967	22,853,404	17,043,209	27,472,747
＊特定財源の説明		国庫補助金、県補助金、５市町村負担金等			
④ 活動一単位あたりコスト		1,203,507	895,748	807,429	
前年度比			74.4%	90.1%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
諏訪地区障がい者スポーツ大会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	17,000	17,000	17,000	17,000
岡谷市障害者福祉推進実行委員会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	350,000	350,000	350,000	350,000
諏訪圏域障がい者総合支援センター運営費負担金	件数	1	1	1	1
	金額	6,128,864	6,923,700	7,151,185	7,853,000
諏訪地域精神保健福祉協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	102,414	101,380	100,286	100,000
諏訪地域地域活動支援センター運営費負担金	件数	1	1	1	1
	金額	296,366	5,683,656	392,636	460,000
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	6,894,644	13,075,736	8,011,107	8,780,000
	割合	12.54%	24.95%	16.78%	17.48%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　高い**

評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値　前年度比　91.8%	1	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値　達成度　91.8%	1	0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 障害者差別解消法の目的である障害を理由とする差別の解消を推進について、職員をはじめ市民に対し理解を深める取り組みが必要。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 引き続き、障がい者や障がいに関する理解促進を図る啓発活動を展開する。
改善開始時期	平成29年4月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B